

菊陽町図書館

ティーンズ  
コーナー  
通信

# ライブ・レター

2022年7・8月号 WEB版



梅雨が明ければ、暑い夏の到来です。夏休みは計画的に過ごしたいですね。図書館には、課題図書、おすすめの本、ライトノベル、マンガなどいろんなジャンルの本がそろっています。夏休みは図書館を活用しましょう！！



## 世界とつながる仕事

世界のために働いてきた人たちに注目！

### 『義足と歩む』 松島 恵利子 // 著



ルワンダ大虐殺によって手や足を奪われた人たちのため、日本人の義肢装具士・ルダシングワ 真美さんは義足を配付する活動を二十年以上続けています。

### 『危機の現場に立つ』 中満 泉 // 著



国連軍縮担当事務次長であり、二人の女の子の母親である中満泉さんは、世界中の紛争地で平和活動に奮闘してきました。

### 『世界のいまを伝えたい』 久保田 弘信 // 著



様々な場所で難民生活をしている人々の思いなどについてやさしく伝えるフォトジャーナリスト久保田弘信さん。

### 『武器ではなく命の水をおくりたい』 宮田 律 // 著



2019年12月、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたってパキスタンとアフガンで人道支援にあたった生涯をたどりながら、その生き方を伝えます。



きみの未来は「なぜ」からはじまる

## ちくまQ ブックス

### 『SDGs時代の食べ方』

井出 留美 // 著



日本では今この瞬間にも大量の食べものが捨てられている。その量は国連が行う食料支援のなんと1.4倍。このおかしな状況を変えるにはどうしたらいいのか？

### 『100年無敵の勉強法』

鎌田 浩毅 // 著



つらくて苦しい受験はなぜあるのか？「活きた」勉強法とはどういうものか？受験突破の勉強法を知ろう！

### 『植物たちのフシギすぎる進化』

稲垣 栄洋 // 著



植物たちが生き残りをかけて進化してきた過程を追いかけると、「強さ」の基準や勝負の方法は無限にあることが見えてくれる。勇気づけられる、植物たちの話。

### 『きみの体は何者か』

伊藤 亜紗 // 著



緊張で体が固まったり言葉が出なかったり。体は思い通りにならない。体の声に耳をすませば新しい発見があるかも…。

どらやきさんは、ティーンズコーナー「みんなのメッセージ」に素敵なイラストでおすすめ本を多数紹介！

## ＜どらやきさんおすすめ＞

### 『三つ編み』 レティシア コロンバニ // 著 齋藤 可津子 // 訳



物語は、インドとイタリアとカナダで暮らす3名の女性の話です。それぞれの国でそれぞれが置かれた境遇の中で懸命に生きる姿が描かれています。中でもインドのスマタの暮らしは、極貧とはどういうものか？しっかりした気持ちはどういうことなのか？それを教えてください。



## 夏休みにおすすめの本



冒険、旅、友達、家族…いろいろな夏の物語。  
心に残る一冊との出会いがありますように！

### 『夏休みルーム』

はやみね かおる // 著  
しきみ // 画



ほくたち、塾の特別クラスのメンバーは、受験前の最後の夏を『夏休みルーム』で過ごすことにした。

### 『人魚の夏』

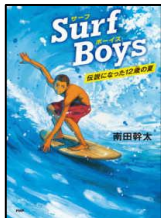
嘉成 晴香 // 作  
まめふく // 絵



春、知里は海で呼びとめられ、不思議な約束をする。自分の子と友だちになってほしいという、人魚に出会う。

### 『Surf Boys』

南田 幹太 // 著



1960年代、湘南の海でもサーフィンをする人が現れ始めていた。小学6年生の亮が誠とサーフィンに出会い成長していく。

### 『サステナブル・ビーチ』

小手鞠 るい // 作  
カンワイ // 絵



もやもや気分が始まった小学生最後の夏休み。七海の世界は大きく広がっていく。

この他にもいろんな分野の本を紹介しています。

## 《マンガで読む戦争と平和》



### 『この世界の片隅に』 こうの 史代 // 著



広島で生まれ、18歳で呉に嫁いたはずは、戦争が世の中の空気を変えていく中、前を向いて生きていきます。戦時中の人々の普通の暮らしが丁寧に描かれています。

### 『夕凧の街 桜の国』 こうの 史代 // 著



昭和30年広島。原爆で父と姉妹を失った皆美は、母と二人きり貧しいながらもたくましく生きていました。でも、ふとした瞬間にあの日の光景がよぎります。やがて、皆美の体にも被爆の影響が出始めて…。被爆し生き残った人達の深い絶望と苦しみを、三世代にわたって描いています。

### 『ペリリュー 楽園のゲルニカ』 武田 一義 // 著



昭和19年、夏。太平洋戦争末期のペリリュー島に漫画家志望の兵士、田丸はいた。そこはサンゴ礁の海に囲まれ、美しい森に覆われた楽園。祖国から遠く離れた小さな島で、彼らは何のために戦い、何を思い生きたのか——!? 『戦争』の時代に生きた若者の長く忘れ去られた真実の記録!

### 『ちらん 特攻兵の幸福食堂』 魚乃目 三太 // 著



特攻の町・鹿児島県の知覧(ちらん)にある小さな食堂。そこには、特攻兵となり出撃してゆく少年飛行兵が集まってきました。彼らと食堂の家族が繰り広げた優しくて儚い物語。

### 『戦争は女の顔をしていない』

小梅 けいと // 作画 スヴェトラーナ アレクシエーヴィチ // 原作



ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。従軍女性たちへの聞き取りから戦争の真実が明らかに!

※『はだしのゲン』中沢 啓治 // 著 もあります



## 夏はやっぱり怖い話

### 『消えない叫び』

R.L.スタイン // 著 他  
三辺 律子 // 監訳



きょうだいが招かれた饗宴。美人の姉に背後から迫る危機。存在しないエリアからのメッセージ。

### 『顔のない花嫁』

K.R.アレグザンダー // 作  
金原 瑞人 // 訳  
小松 かほ // 訳



不気味なお化け屋敷へようこそ。毎年町で開催されるのは「お化け屋敷コンテスト」

### 『モンタギューおじさんの怖い話』

クリス・プリーストリー // 著  
デイヴィッド・ロバーツ // 画  
三辺律子 // 訳



怖い話が聞きたい一心で、森はずれのモンタギューおじさんの屋敷に通うエドガー少年。彼が聞いた怖い話とは?

### 『トンネルに消えた女の怖い話』

クリス・プリーストリー // 著  
デイヴィッド・ロバーツ // 画  
三辺律子 // 訳



初めての一人旅。目をあけると、列車は止まっていた、目の前に白いドレスのやせた女が…。トンネルでいったいなにが!?

※熱中症や感染症に気を付けて、事故やケガのない夏休みを過ごしてくださいね。